

第8回 天神川河川整備懇談会 議事要旨

開催日時：令和6年1月19日（金）13:30～15:20

場 所：倉吉河川国道事務所 1階 会議室（Web会議）

1. 開会

- ・倉吉河川国道事務所所長 挨拶
- ・委員長 挨拶

2. 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）について

- ・事務局説明
 - (1) 天神川水系河川整備計画変更に向けたスケジュールについて、資料2にて説明
 - (2) 第7回会議でのご意見と対応について、資料3にて説明
 - (3) 変更案に対する関係住民からのご意見と対応について、資料4～5にて説明
 - (4) 天神川水系河川整備計画（変更）（案）について、資料6～7にて説明
 - (5) 天神川水系河川整備計画（変更）（案）の事業再評価について、資料8にて説明

・質疑応答

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
資料1	—	意見なし	—
資料2	—	意見なし	—
資料3	門田委員	ため池等の利用とは、具体的にどんな利用か知りたい。	大雨が予測されたらため池の水位を下げ、出水時に貯めることによる治水対策（流域対策）である。農業従事者等の理解のもと関係者と協働、連携する取り組みである。
	三輪委員	ため池は農林水産省の管轄で国土交通省の管轄ではないが、流域治水の中に他省庁との協議も含まれていて、合意もできているのか。	天神川流域治水協議会に、農林水産省が参画している。ため池については、上記協議会実施の基、農林水産省とは合意しており、流域治水プロジェクトにも記載している。
	安藤委員	情報の分かりやすい見せ方等の工夫には、橋桁に示した水位線等を表記したものを河川の監視カメラでみられるようなものも含まれているか。	自宅等安全な場所で水位が確認できるように、カメラの位置や見せ方を検討中である。また、最近ではケーブルテレビにも画像箇所を追加している。
資料4	三輪委員	アンケート対象者がアンバランスに思えたのでアンケートの目的を教えてください。	傾向等比較しやすい形で現行整備計画策定時に行ったアンケートと同様の内容を同様な対象者に対して行っており、当時から住民の意見の変化を把握することを目的としている。結果的には、当時と

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
			大きく変わっていないことを確認した。 また、アンケートをすることで河川整備計画の広報にも繋がっている。
資料 4 (続き)	門田委員	アンケートの対象に未来を担う中学生が含まれていたことは良い選択であったが、川に興味が無い、行ってみたい施設が無い等の反応は残念。国交省だけの管轄ではないと思うが、子どもたちが近づいて楽しめる施設があればよい。また、サイクリングロードについても近い将来整備してほしい。	市の占用という形で、公園やグラウンド等の整備されている箇所はある。 サイクリングロードについては、河川管理者として県に対して助言等の適切な対応を行っていく。
	門田委員	アンケート結果を中学生に配布することは可能か。川に興味を持ってもらうことに繋がる。	中学生や小学生が加わっている菜の花プロジェクトにおいて意見交換を行いたい。
資料 5	西田委員	樋門の管理は誰がしているのか。一斉に閉めたり開けたりが可能か。	市町に委託し、地元にお住いの方に操作して頂いている。
	三輪委員	質問の中に次の整備計画への反映や実現が困難なものはあるか。	大規模ソーラー群を中止してもらいたい等、河川管理者の所管外の意見が多少含まれていた。
	北村委員	今後気候変動の影響による海面水位の上昇もある中で、本計画での高潮対策に関する位置付けを明確にした方がよい。	天神川ではこれまで高潮被害は発生していないが、気候変動による潮位の上昇を踏まえた長期的視点で、今後必要に応じて対応するものとしている。(鳥取県が管理する海岸保全施設について位置付けている鳥取沿岸海岸保全基本計画とも今後整合を図っていく必要があると認識。) 整備計画での記載方法については検討したい。 →高潮の記載を追加・削除(対比表 P4, 7, 14, 18)
	安藤委員	意見への回答はどの程度、意見を出した人に伝わるのか。ウェブ上で公開されるのか。	本日の資料をウェブサイトで公開する。
資料 6, 7	道上委員長	整備計画本文については誤字脱字等のないように事務局のほうで確認すること。	速やかに確認する。 →レイアウトの調整、表現の統一等を実施(対比表 P6, 15, 16)
資料 8	小野委員	感度分析によると工期が延びたほうが B/C がよくなるという数字になっている。これは将来の事業費を現在価値に換算することによるものか。そうだとすれば、感度分析の示し方	感度分析は費用便益分析に影響を及ぼす要因について、その要因が変化した場合の分析結果への影響の大きさ等を把握するものである。今回の分析のうち、工期延伸の B/C が大きくなった主

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
		について、今後ご検討いただくのがよいと思う。	な要因は事業実施中においても段階的に効果は発現するものとして見込んでおり、その効果発現時点での効果量と事業完了年度の効果量の関係によるものである。また、感度分析は費用便益分析に影響を及ぼす物価上昇や事業費の増加等の要因について、その要因が変化した場合の分析結果への影響の大きさ等を把握するものである。
	鶴崎委員	事業費が増加したほうがB/Cが減少する数字となっているのは、少ない予算でやった方がよいということか。	コスト縮減をするとB/Cは大きくなるので、ご指摘の通りである。

3. 閉会

- ・河川調査官 挨拶

【配布資料】

- 資料 1 第 8 回天神川河川整備懇談会 議事次第
- 資料 2 天神川水系河川整備計画（変更）【大臣管理区間】スケジュール（案）
- 資料 3 第 7 回会議でのご意見と対応
- 資料 4 天神川の川づくりに関するアンケート結果
- 資料 5 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）に関する意見集約結果について
- 資料 6 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）
- 資料 7 天神川水系河川整備計画（現行）と天神川水系河川整備計画（変更案）（案）の本文対比表
- 資料 8 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（案）に関する事業再評価